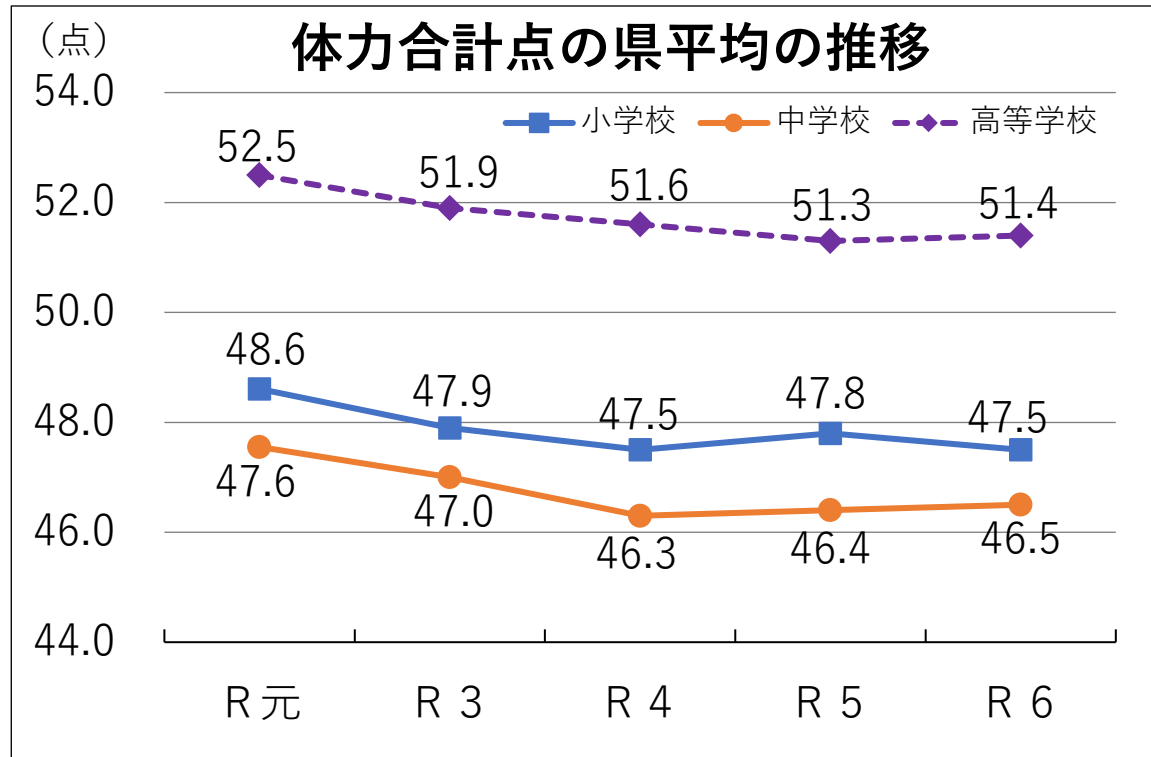


提言

全ての子どもが運動の楽しさや喜びを味わうことができる取組を推進しよう！

～「もっとやりたい！」を引き出す工夫を～



テスト項目ごとの令和元年度との比較						
テスト項目	小 5 男女		中 2 男女		高 2 男女	
握力 (kg)	- 0.25	↘	+ 0.07	↗	- 0.91	↘
上体起こし (回)	- 1.27	↘	- 0.95	↘	- 1.37	↘
長座体前屈 (cm)	+ 0.43	↗	+ 1.15	↗	+ 0.02	↗
反復横とび (点)	- 1.61	↘	- 0.52	↘	- 0.58	↘
20mシャトルラン (回)	- 6.28	↘	- 6.24	↘	- 8.11	↘
50m走 (秒)	+ 0.18	↘	+ 0.01	↘	- 0.02	↗
立ち幅とび (cm)	- 1.44	↘	- 0.04	↘	- 1.62	↘
ボール投げ (m) ※	- 1.23	↘	+ 0.03	↗	- 0.90	↘

※小学校はソフトボール投げ、中学校・高等学校はハンドボール投げ

「令和6年度県新体力テスト」(秋田県教育委員会)より

「令和6年度県新体力テスト」の結果から、各校種の体力合計点を令和元年度と比較すると、1点以上下回っている状況にあります。また、小5男女・中2男女・高2男女の平均をテスト項目ごとに令和元年度と比較すると、下回っている種目が多くあります。

各学校において、コロナ禍で中止していた体育的活動がほぼ再開されているものの、運動習慣の形成や体力の向上に向けた取組が、成果となって表れるところまではいっていないことが考えられます。各学校の課題を把握し、運動習慣の確立や体力の向上につながる取組を進めましょう。

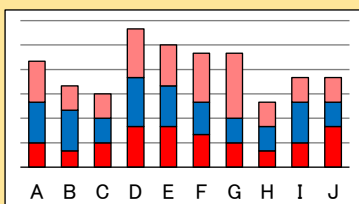
子どもの「もっとやりたい」を引き出す取組を工夫しよう

体力の向上に向けた目標(学校目標・個人目標)を適切に設定し、目標達成のための取組を工夫することで、子どもの「運動したい」という思いを引き出し、主体的な運動につながるようにしましょう。

目標の設定には「**新体力テスト分析シート**」も活用できます。

体力の向上のための取組にICTを活用してみよう！

【全校での取組(例)】
業間運動等の記録をパソコンに保存。取組状況や記録の伸びをグラフ等で掲示し、見える化する。



【個人での取組(例)】
子どもが自分の興味・関心や体力に応じて運動の動画を選び、自由に運動に取り組む時間を設定する。

子どもが**自分の変容を実感**できるようにする。

子どもが**運動の楽しさや心地よさを実感**できるようにする。



©2015秋田県んだッチ

「美の国あきたネット」より
コンテンツ番号「**70098**」
で検索

令和6年度新体力テスト分析シート

コンテンツ番号: 70098

各校のデータをシートに入力し、分析等に活用してください。

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度	令和元年度
小学校	握力	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637
中学校	握力	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637
高等学校	握力	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637	1.637

ダウンロード

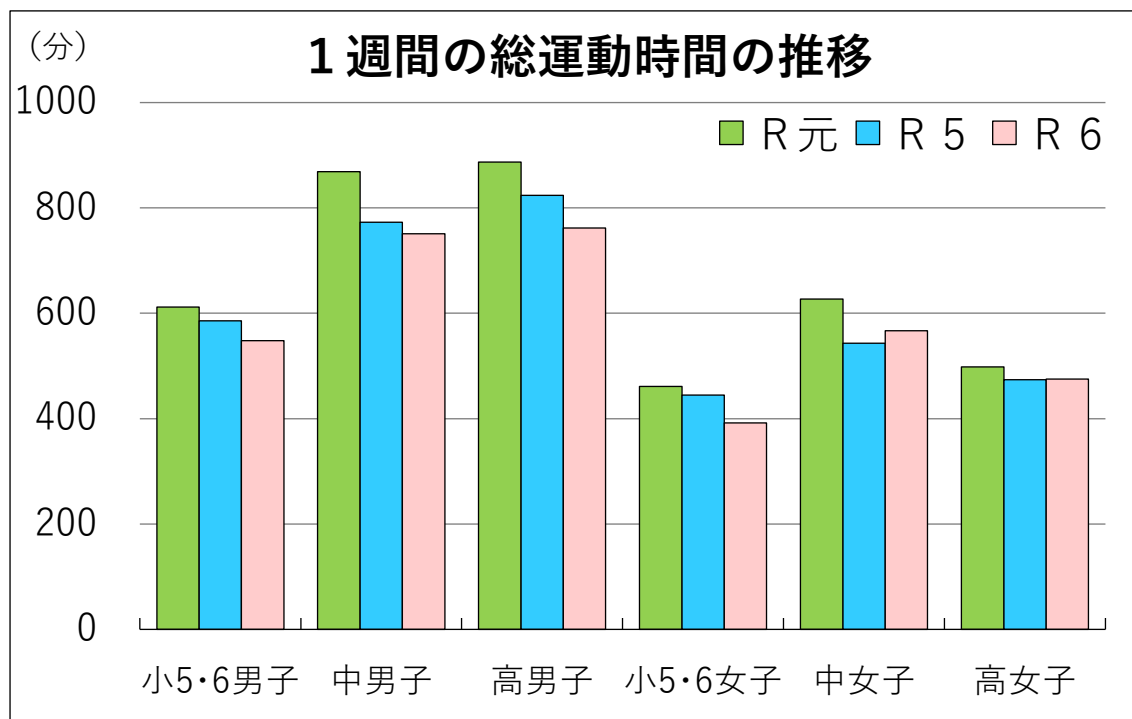
R06小学校分析シート [80KB]
R06中学校分析シート [62KB]
R06高等学校分析シート [62KB]

主体的な運動の実践につながる取組を充実させよう

本県の子どもの1週間の総運動時間は、令和元年度や令和5年度と比較し、減少傾向にあります。

「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」からは、運動やスポーツをすることが好きと感じている子どもほど、1週間の総運動時間が長いことが見て取れます。

主体的な運動やスポーツの実践・習慣化へとつなげるために、体育の授業を通じて運動の楽しさを味わうとともに、運動を実践する場や機会を計画的、継続的に設定しましょう。



「運動やスポーツをすることは好き」と1週間の総運動時間の関係（分）

	小学校		中学校	
	5年男子	5年女子	2年男子	2年女子
好き	615	444	859	691
やや好き	303	231	556	392
やや嫌い	172	147	373	227
嫌い	130	135	325	137
全国平均	536	347	760	505

「児童生徒のライフスタイル調査」（秋田県教育委員会）

「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（スポーツ庁）

家庭や地域で運動に親しむ機会を増やす工夫を！

家庭でも気軽に取り入れられる運動を体育の授業で体験する。

家庭での実践を意識し、「体づくり運動」の学習で『運動計画』を立てる。

地域でのスポーツイベント等への主体的な参加を支援する。

諸調査の結果やそれに基づく運動例を通信等で家庭に紹介し、運動に親しむよう啓蒙を図る。



©2015秋田県んだッチ

学校で取り組んでいることや家庭・地域に協力をお願いしたいことなどを積極的に発信し、**学校・家庭・地域が連携**して運動に親しむ機会をつくりましょう。

○参考資料や動画など

全国体力・運動能力、運動習慣等調査記録シート

※県内全ての小・中学校に配布済



スポーツ庁HP

「子供の体力向上企画」～体力テスト編～

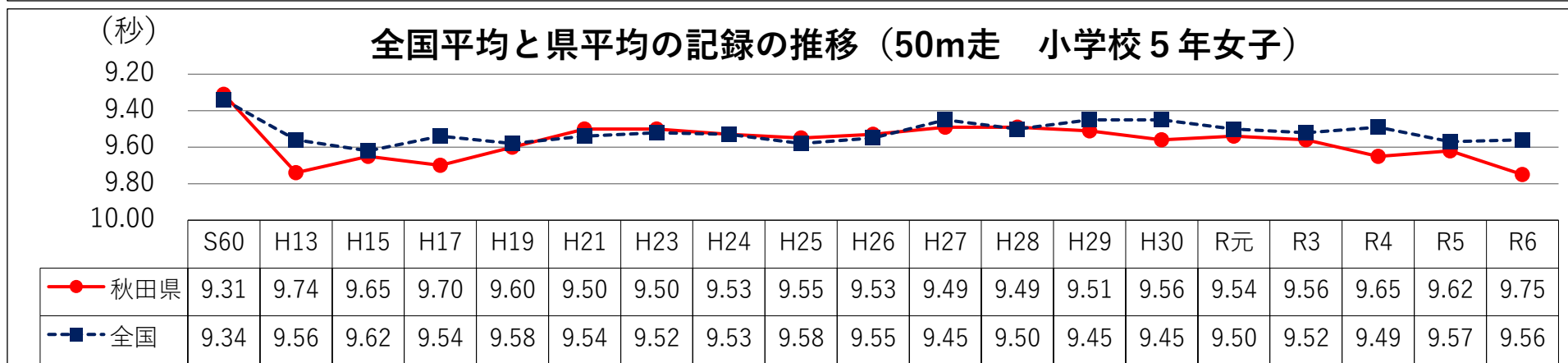
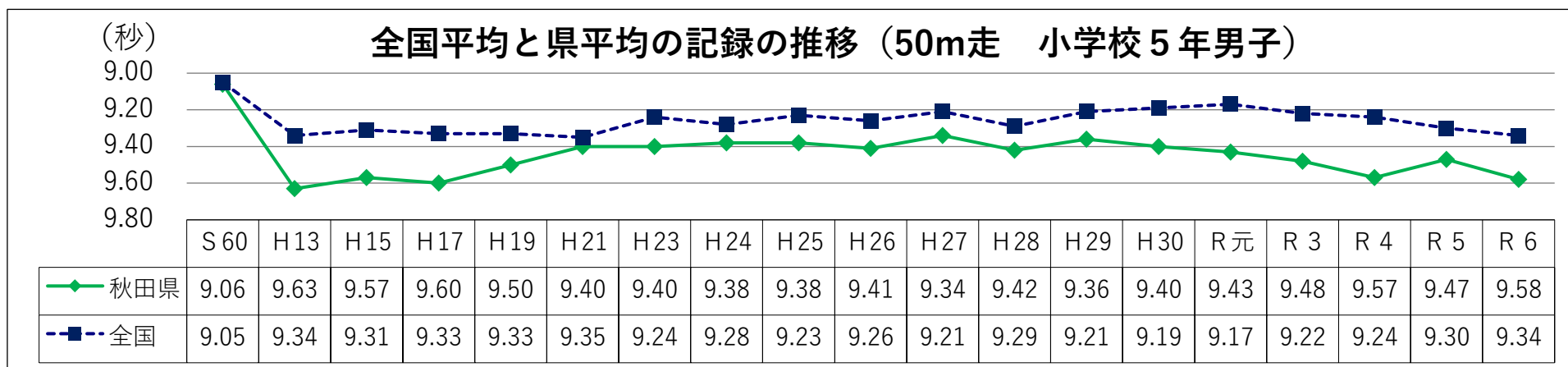
いろいろな運動を行う際に、自分が持っている力を発揮するためのウォーミングアップの例を動画で紹介。



こちらからアクセスできます



『走る』楽しさを味わうことができる取組を進めよう



子どもが、
「**走ることが
楽しい**」と感
じるのはどん
なときかな？



©2015秋田県んだッチ

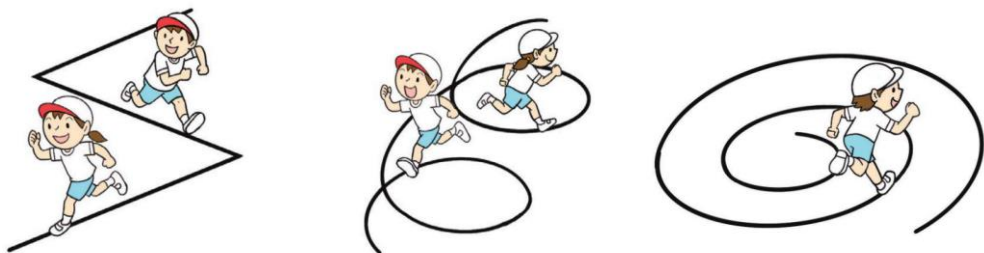
「令和6年度県新体力テスト」（秋田県教育委員会）より

「令和6年度県新体力テスト」の50m走において、高2男子以外で全国平均を下回っています。小学校では、近年、記録の低下も見られており、走力の低下は本県の大きな課題です。

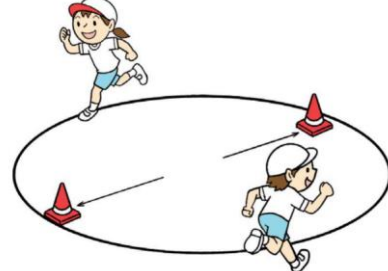
「走る」は、「投げる」「跳ぶ」とともに、身に付けさせたい基礎的な運動能力です。子どもが走る楽しさを味わうとともに、走力の向上も図ることができる取組を進めましょう。

～子どもが『走る』楽しさを味わうことができる取組（例）～

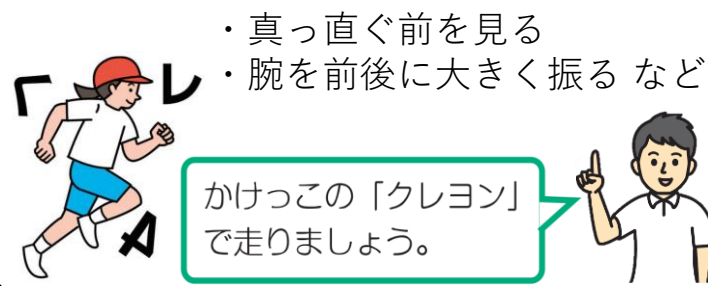
○かけっこ ※いろいろな線の上を走る



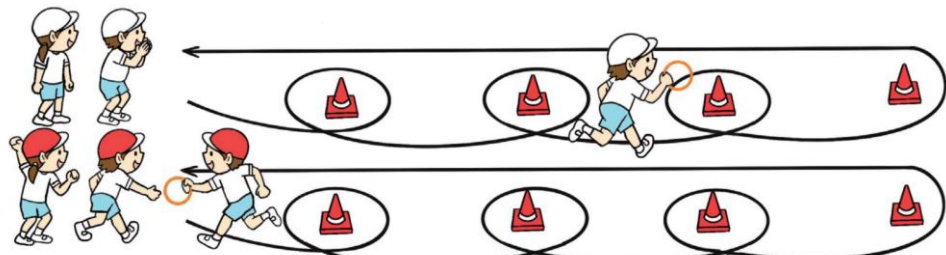
○ペアで競走



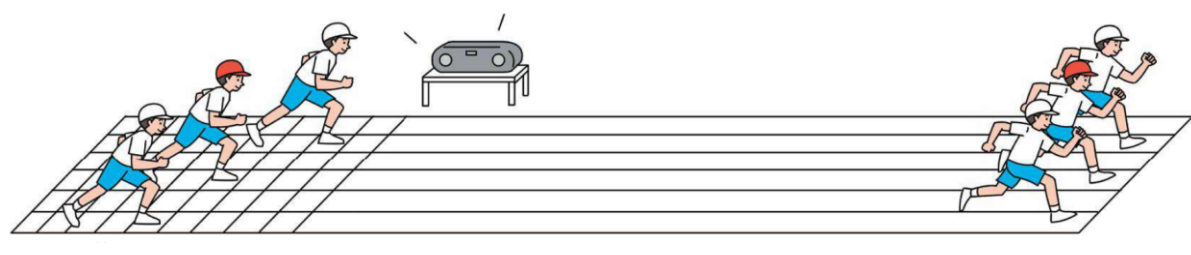
○運動の行い方



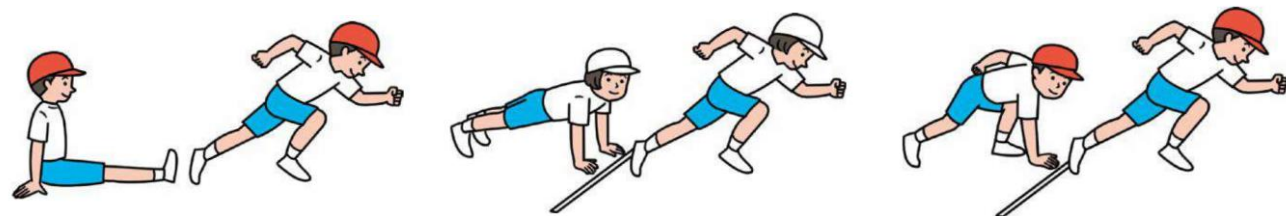
○リレー（遊び）



○8秒間走 ※8秒ちょうどで走り切る距離で



○いろいろな姿勢からのスタート



「小学校体育（運動領域）指導の手引」（スポーツ庁）より

参考資料等

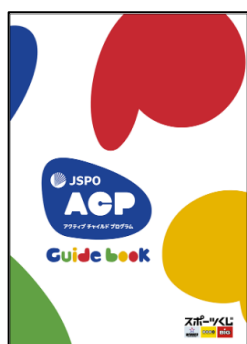
スポーツ庁HP

「小学校体育（運動領域）指導の手引
～楽しく身に付く体育の授業～」



日本スポーツ協会HP

「アクティブチャイルド
プログラム（ACP）」



全ての子どもが
運動（遊び）に親
しみ、**運動の楽し
さや喜びを味わう
ための工夫**を取り
入れよう。

©2015秋田県んだッチ

